

生活総合機能改善機器

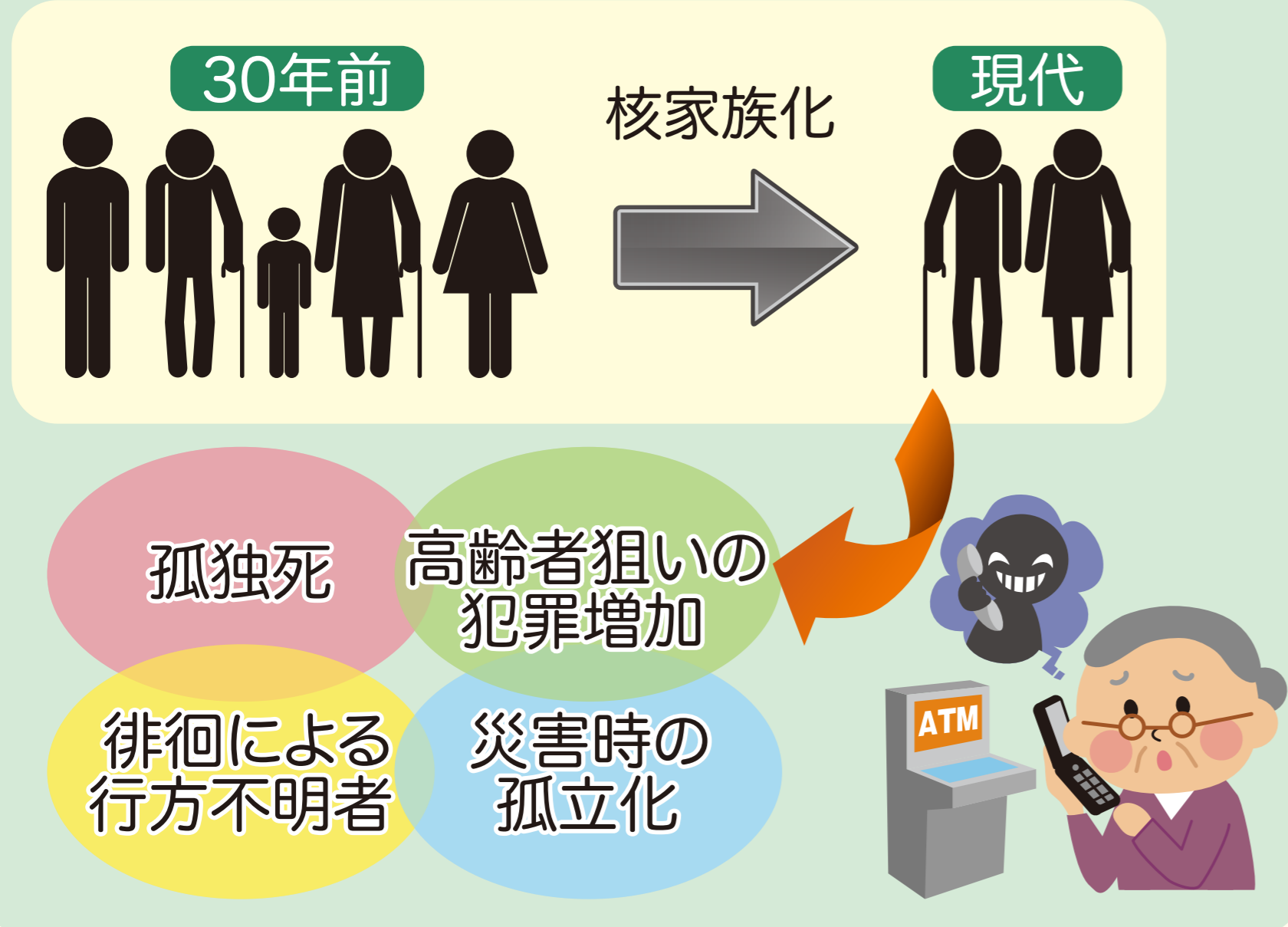
## DK ELDER SYSTEM FREEDAM

### FREEDAMを活用した「高齢者の地域コミュニティ創出」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科との共同研究を行いました!

#### 研究の背景

##### 全国的な高齢化社会問題

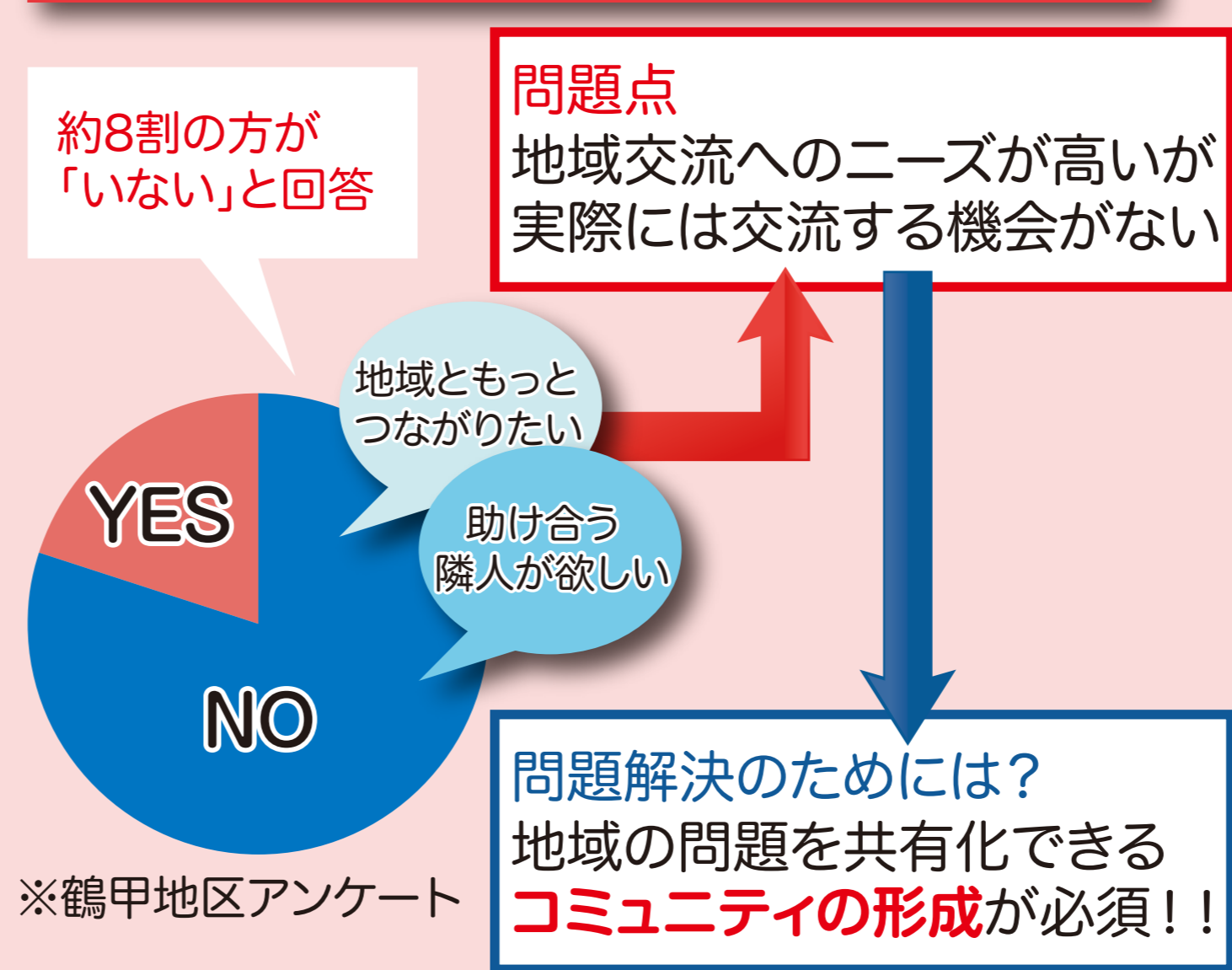
65歳以上の高齢者のいる世帯(全世帯の4割)では、夫婦のみの世帯&単身世帯の割合が過半数を超えている状態  
※「平成24年版高齢社会白書」



##### 地域的問題-都心部高齢化問題-

三大都市圏では、今後の高齢化がより顕著である

Q:困ったときに助けてくれる隣人はいますか?



##### 地域の絆と健康

地域の絆が強い地域ほど健康度が高い

地域コミュニティの形成で  
期待出来る効果

- 健康度は伝播する
- 犯罪率の低下
- 出生率の増加
- 安心感が生まれる
- 生活の質が向上

※「平成19年版国民生活白書」

#### 健康教室の実施

##### 研究概要

鶴甲地区高齢者を対象とした「鶴甲いきいきづくりプロジェクト」アカデミックサロンにおいて、高齢者の健康増進・音楽レクリエーションプログラムを開催しながら、地域コミュニティを創出する。

##### 研究機関

神戸大学大学院人間発達環境学研究科  
協力:株式会社第一興商エルダー事業開発部

##### 実施場所

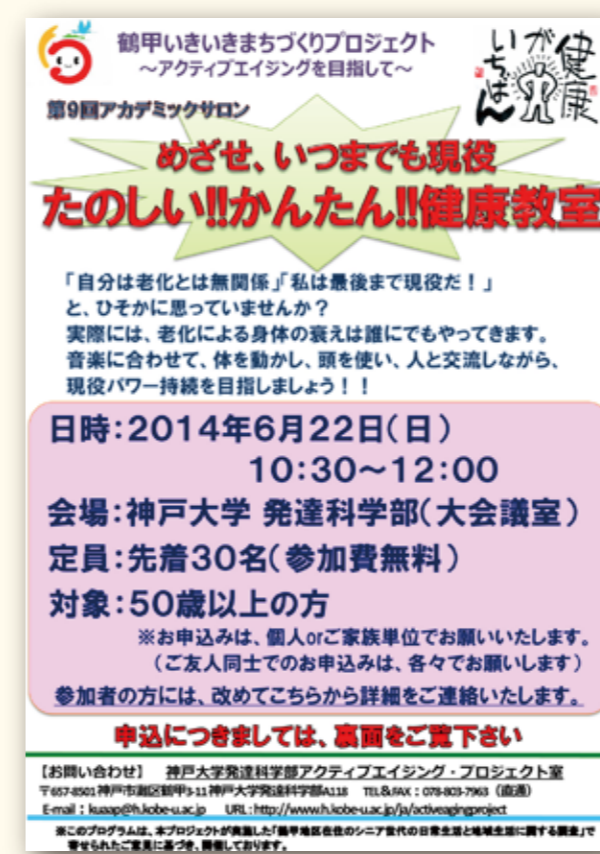
神戸大学発達科学部 平成26年3月17日 ~ 平成27年3月31日

##### 実施対象

神戸市灘区鶴甲地区在住の高齢者27名(平均73.41歳)

##### 実施内容

FREEDAMを活用した高齢者の健康増進・音楽レクリエーションプログラムとして「健康教室」(2ヶ月間で4回実施)を開催。開催前後に当該地区在住の高齢者を対象とした日常生活と地域生活に関する住民調査を行い、本プログラムの効果測定を行った。



地域の方々のコミュニケーションの場として、体を動かしながら脳の老化も予防にも効果的な「健康教室」を開催しました!



#### 実施後の成果分析

##### 分析対象

健康教室参加者のうち、初回と最終回の両方に参加した15名。

##### 分析方法

対面行動ログ収集ツールにて収集した、初回と最終回の交流データを比較。  
※名札型センサをつけた者同士が近づくると赤外線通信で対面時間などを蓄積できるツール使用

##### 分析結果

初回では参加者2名でしか交流が認められなかったが、最終回では8名の参加者を含むネットワークが形成され、コミュニケーション時間も長くなった。

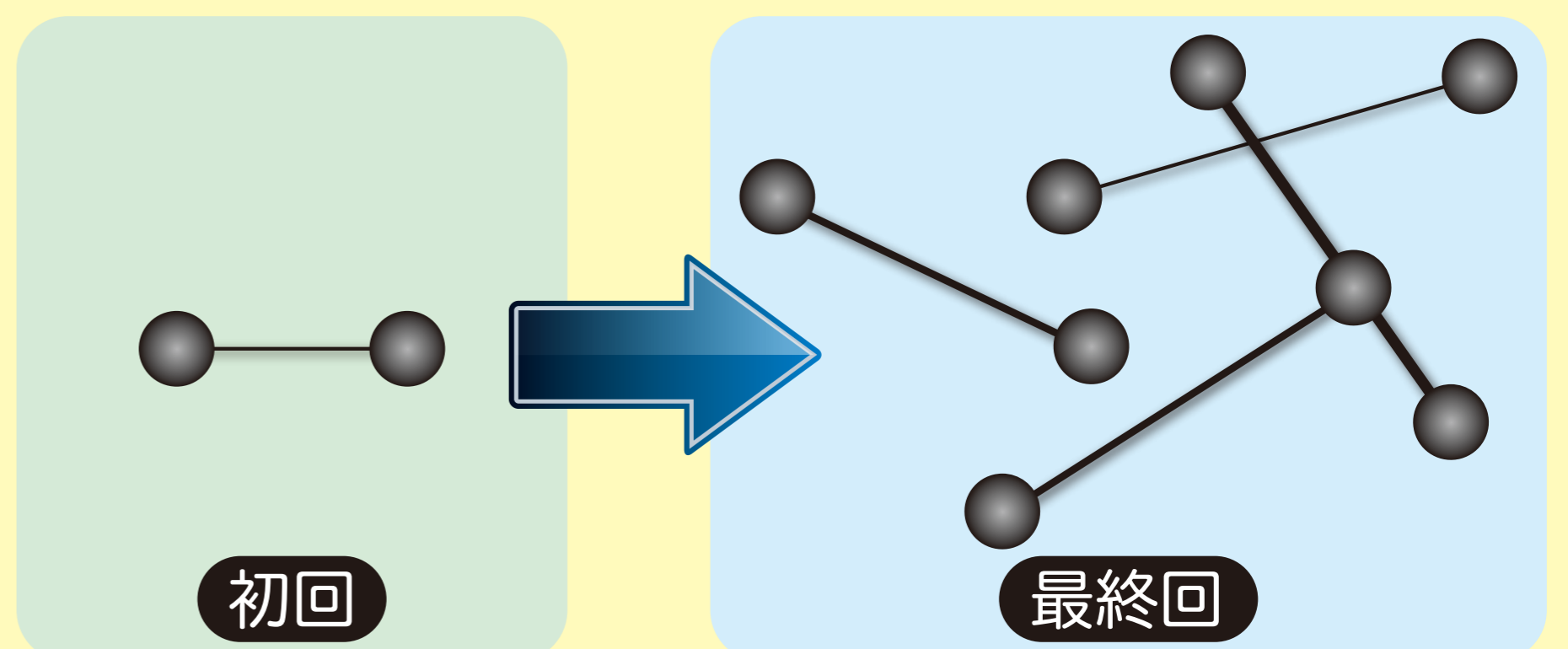
※交流ネットワーク図参照



同一の地域の住民を対象とし、複数回の健康教室を行なうことによって参加者の交流が促進され、地域交流に関する関心も高まることを示唆している。

##### 参加者間の交流ネットワーク図

初回健康教室開始前と最終回健康教室開始前10分間の交流データを比較した



● ... 参加者  
— ... 1分以上の参加者交流があったことを示す  
※線の太さは交流時間を反映している